

私の母は、保育士です。母は保育園で一番怖い先生で有名でした。

私は、母の職場とは違う園に預けられていたため、母が保育園で一番怖い先生だということを知ったのは、小学校に入学したあとでした。小学生のとき、母の職場の卒園児であった二年生の先輩に話しかけられました。「先生の子供さんでしょ」と、なんで母のことを知っているか聞くと、「だって保育園で一番怖い先生で有名だもん」と言われました。その後も、違う人達から「あなたのお母さんは一番怖い先生だった。」と、何度も何度も聞くようになりました。私は、「どうせなら保育園で一番やさしい先生で有名になってほしかったな」と母の職業にあまりいい印象をもつことができませんでした。

去年の9月、私は職場体験で、保育園に行くことになり、私は、二歳児さんを担当しました。まだ言葉もままならず、とつてもわかりやすく言わないとお願いを、聞いてくれずとても大変でした。一日目に園児同士での、おもちゃの取り合いが起ってしまった。私と一緒に遊んでくれていた園児だったため、注意しなくてはならないのに、どうすればいいかわからず慌てていると、保育園の先生が、代わりに注意してくださりました。「本当は注意したくなかったんだろうな、でも園児のことを思っているから、注意したくなくても、しなきゃいけないんだな」と、感じました。その瞬間、母が頭によぎりました。母は、誰よりも園児のことを思っていたんじゃないかと、絶対になりたくて、怖い先生になったはずはない。そう考えることができるようになりました。いまでも私は、母の職場である保育園に通っていた友達から、「あなたのお母さんは保育園で一番怖い先生だった」と聞くことがあります。ですが、今は、「園児のことを一番に考えられる、保育園で一番優しくかった先生」と捉えることができ、私にとって母は、とても自信を持って自慢できる良い母であり、良い保育園の先生です。

母は毎日とても疲れて帰ってきます。「そんなに大変なんだ」と思っていたのですが、職場体験を通して、母や、保育園の先生方の凄さを実感することができました。職場体験のとき、「保育園の行事で、いちばん大変なことはなんですか？」と質問したところ、「子どもが楽しめるようにすることです。」とおっしゃられました。すべての質問に「子ども」という言葉が出てきて、私が想像していたよりも何十倍も園児のことを思って、過ごしていらっしやることに、とても驚きました。私はそんな、子供のことを常日頃から思っいらっしやる、職場体験での保育士の皆さんや、自慢の母に憧れ、保育園の先生になりたいと夢をもつことができました。

私は将来、母を超える、自慢されるような保育園の先生になりたいです。